



平成27年度当初予算のポイントと 政策懇談会からの提言への対応について



1

地方創生への
先行的取組

2

健康都市づくり
教育力の向上



再生への加速の年

3

防災対策の推進

4

総合文化施設開館
マイントピア別子再生

1 地方創生への取組

少子化対策の充実



□ 子育て応援券の交付 4,438万円

第3子以降の未就学児のいる家庭へ「子育て応援券（商品券）」3万円分を交付します。また、中学生以下の子どもがいる家庭等へ「子育て応援パスポート」を配布し、協賛事業所を募集します。

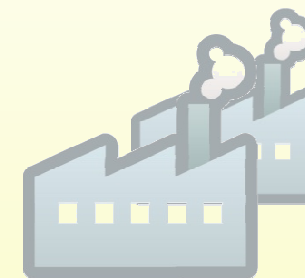
□ 保育園保育料の第3子無料化の拡充 3,800万円

保育園保育料を無料化する第3子の要件を、同時在園から小学校3年生までに拡充します。

□ 幼稚園就園奨励補助の拡充 1億369万円

多子世帯及び低所得世帯の幼稚園保育料の補助を拡充します。

産業振興、雇用対策



□ 内陸型工業用地の造成 2億2,600万円

観音原地区へ新たな工業用地を造成します。(16,672m²)

□ 若者奨学金返済への支援、移住相談窓口の設置 64万円

大学等を卒業後市内企業へ就職した人を対象に、奨学金の返済に対する助成制度を設けます。また、仕事や住居の情報を掲載したUIJターン支援サイトを制作し、移住相談窓口を設置します。

□ 中小ものづくり企業品質管理への支援 300万円

市内中小企業が独自に実施する製品等の品質管理に対する取組を支援します。

□ ものづくり高度技能研修への支援 400万円

ものづくり産業振興センターにおいて実施される高度技能研修に対し支援を行います。

2 健康都市づくりと教育力の向上



健康都市づくり

□ がん検診の無料化 8,738万円

各種がん検診の受診料を無料とし、受診率の向上によるがんの早期発見、早期治療につなげ、健康寿命の延伸を図ります。

□ 健康ポイントへの助成 125万円

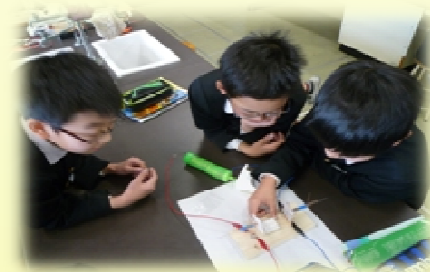
健康に対する市民の意識改革を推進するために、健康づくり事業への参加をポイント化し、ポイントに応じた助成を行います。

□ 健康長寿地域拠点づくり 809万円

自治会館等を活用して、魅力ある健康長寿事業を実施することのできる「通いの場」を作ること、高齢者の健康づくりや仲間づくりを推進します。

2 健康都市づくりと教育力の向上

教育力の向上



□ 放課後まなび塾の拡充 2,765万円

開設場所を5校区増やして7校区とし、子どもの放課後学習をサポートし、学習習慣の定着と学力向上を目指します。

□ 学校図書館への支援の拡充 1,932万円

新たに学校図書館支援センターを設置するとともに、支援員を2名増員し8名体制とし、学校図書館を活用した授業支援等を行います。

□ あいさつ運動の推進 100万円

学校、PTA、地域が協力して子どもたちに関わり、あいさつ運動を推進することで、地域全体で子どもたちを育てます。

3 防災対策の推進



□ 防災拠点施設の建設推進 2億9,834万円

郷土美術館、北消防署旧庁舎跡地へ建設を予定している防災拠点施設の28年度からの建設に向け、基本設計、実施設計等を行います。

□ 耐震シェルター等設置に対する支援 200万円

旧耐震基準で建設された木造住宅を対象に、耐震シェルター、耐震ベッドの設置の一部を補助します。

□ 備蓄物資の拡充と防災士の活動支援 828万円

非常食と生活必需品の備蓄物資を12,000人分へ拡充するほか、防災士の資格取得者に対する研修を新たに実施します。

4 総合文化施設開館、マイントピア別子再生

□ 総合文化施設開館記念事業 9,184万円

駅前のにぎわいづくりの核となる総合文化施設がいよいよ7月にオープンします。オープンを記念して、各種開館記念事業を実施します。



□ マイントピア別子改修事業 8億100万円



端出場温泉保養センターを全面リニューアルし、合わせて、子ども用遊戯施設の新設、芝生広場の充実を行い、28年4月のオープンを目指します。

政策懇談会からの提言への対応状況 (平成27年度当初予算)

1 健康都市づくりワーキンググループ

1-1 健康に対する市民の意識改革の推進

- 健康ポイント助成事業 1,252千円
- ウォーキング推進事業 1,020千円

1-2 生活習慣病対策の推進

- がん検診等（無料化） 87,387千円

1-3 食育の推進

- 食育推進事業（拡充） 1,894千円

1-4 地域コミュニティ等を活用した健康長寿づくりの推進

- シニアクラブ活動支援事業 1,081千円
- シルバーボランティアポイント助成事業 3,828千円
- 介護予防プログラム開発事業 2,060千円
- 健康長寿地域拠点づくり事業 8,093千円
- 高齢者就業機会拡大推進事業補助金 1,500千円

1-5 認知症高齢者を地域で支え合う体制の整備

- 認知症高齢者地域支え合い事業 798千円

1-6 地域の健康長寿づくりを総合的に担うコーディネーター配置についての検討

- 先進自治体の事例等を調査研究し、事業実施に向けた事業の制度設計について検討する。

2 教育力向上ワーキンググループ

2-1 学校の教育力の向上

2-1-1 確かな学力の向上

- あかがね算数・数学コンテスト開催費(継続) 198千円
- 新聞制作体験学習事業(継続) 868千円
- 英語キャンプ開催費 1,368千円

2-1-2 学校図書館の充実及び図書を使った教育の拡充

- 学校図書館支援事業(拡充) 19,328千円

2-1-3 教育環境の向上

- 小学校ICT環境整備事業 4,427千円

2-2 家庭の教育力の向上

2-2-1 P T Aと連携した施策の充実

- あいさつ運動推進事業 1,000千円

2-2-2 子育て支援の充実

- 子育てサービス利用者支援事業 6,732千円

2 教育力向上ワーキンググループ

2-3 地域の教育力の向上

2-3-1 公民館事業の充実

- 放課後子ども教室推進事業（継続） 2,700千円
- 新しい公民館創造プロジェクト事業（継続）
12,600千円
- 学校支援地域本部事業（継続） 3,758千円

2-4 連携による教育力の向上

2-4-1 学校・家庭・地域（公民館）との連携強化

- 放課後まなび塾（拡充） 27,652千円
- あいさつ運動推進事業 1,000千円（再掲）

2-4-2 連携による子どもの安全確保

- 防犯活動推進事業補助金（継続） 2,000千円

2-4-3 放課後児童クラブの充実、学校との連携による運営

- 放課後児童クラブ運営事業（継続） 88,854千円

3 経済再生ワーキンググループ

3-1 中小ものづくり企業品質管理補助事業	<input type="checkbox"/> 中小ものづくり企業品質管理事業補助金 3,000千円
3-2 中小企業生産性向上事業	<input type="checkbox"/> 地域人づくり中小・中堅企業経営力改善事業 5,080千円
3-3 ものづくり高度技能伝承事業	<input type="checkbox"/> ものづくり高度技能伝承事業補助金 4,000千円
3-4 東予ベッドタウンプロジェクト	<input type="checkbox"/> 若者奨学金返済支援事業補助金 648千円
3-5 基盤整備のための道路拡張事業	<input type="checkbox"/> 次期長期総合計画策定に向けて都市計画道路の見直しが必要と考えており、提言の内容を踏まえて検討する。
3-6 石油資源備蓄プロジェクト	<input type="checkbox"/> 事業効果について検証等を要するため、引き続き検討する。
3-7 新居浜の特産品を活かした商品開発事業	<input type="checkbox"/> 特産品開発支援事業補助金 329千円
3-8 新居浜スイーツ選手権開催事業	<input type="checkbox"/> 新居浜ブランド創出支援事業補助金 1,000千円

4 市政全般に関する事項

<p>4-1 日本一創業・新事業展開しやすい支援体制の構築について</p>	<p>□ 中小企業振興対策事業補助金 ・新事業の展開事業に対する補助（ほか） □ にいはま創業コンシェルジュ事業 商工会議所・えひめ東予産業創造センター・日本政策金融公庫・新居浜市の支援機関4者の連携を更に強化し、創業しやすい支援体制を構築する。</p>
<p>4-2 住友各社の事業展開に係る社会インフラ整備について</p>	<p>□ 道路整備事業 17,000千円（新田松神子線）</p>
<p>4-3 地域商品券の発行について</p>	<p>□ プレミアム付商品券発行事業（県） 84,200千円</p>

<p>1 健康都市づくりワーキンググループ</p>	<p>10事業 1億 891万 3千円</p>
<p>2 教育力向上ワーキンググループ</p>	<p>13事業 1億 7,148万 5千円</p>
<p>3 経済再生ワーキンググループ</p>	<p>6事業 1,405万 7千円</p>
<p>4 市政全般に関する事項</p>	<p>4事業 1億 120万 千円</p>
<p>合計</p>	<p>33事業 3億 9,565万 5千円</p>